

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 音楽療育特化型事業所 リズムストーリー松原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個性、人数を配慮し適切な指導支援スペースを確保できるように募集している	私用目的を明瞭にして事故防止の観点で環境を整える
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	音楽療育を行う上で必要人数を想定している	新規職員の療育スキルアップが必要
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	療育室、トイレバリアフリー	柵や動線の工夫で安全かつ快適に過ごせるように配慮している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	指導計画等療育にかかわる内容について全職員によるミーティングをおこなっている	エルダー制度があり、PDCAサイクルを元に動いている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様の意向等は必ず周知し職員間で意見交換しています	年に1度アンケート調査を行い業務改善していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	弊社ホームページで掲載いたしません	会報での掲載も検討中です
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	検討中	外部評価を受けて業務改善につなげていきたい
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月に2、3度法人内で必要な研修が開催されるのでその研修に全職員参加している	今後も大阪府、市、法人等の研修に積極的に参加し、資質向上を目指していく
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	必ず保護者のニーズに寄り添った内容で職員間での分析会議をしたうえで作成している	利用者(子ども)のニーズを活かす支援計画の作成について会議を開く
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	日々支援記録によって周知している。標準化されたアセスメントシートの提示がある子どもについてはそれも使用している	今後当事業所内でのツール使用が可能か検討していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月毎週職員会議で立案している	PDAサイクルに基づき立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	プログラム会議を行い児童の様子、季節、流行り、興味に合わせたプログラムを導入している	新しいパネルシアターの作成
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・午前午後プログラム変更や内容を必ず職員間で話し合い決めている・長期休暇用にプログラムを設定している	個別支援計画にも適宜詳細を記載している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	子どもの状況に応じて適切な支援計画を作成している	多面的に配慮した支援計画を作成し、社会生活に順応できるように今必要な支援を職員間で周知します
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時又午後療育前等、必ず支援の打ち合わせを行い役割分担を決めている	子ども達が混乱しないように配慮し職員全員で意識を持って動けるようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援記録内容を確認し合い、意見を共有している	支援記録の記入に伴い疑問点、困りごと、等必ず話し合い、必要であれば助言指導を行い解決していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	支援計画と照らし合わせながら行っている。毎日記録し打合せや支援方法の見直しに役立てている	支援計画に沿ってわかりやすく記載することを心がけている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	常にモニタリングしながら、半年に一度の支援計画に反映している	支援計画がおおむね継続となる場合、更にスモールステップを意識した支援内容に変更していく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	基本活動を複数組み合わせ合わせた支援になっている	基本活動の「地域交流の機会の提供」についてより多く機会を作れるように検討していく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管と職員間で話し合いその子どもの状況を判断し決定している	日程等都合が合わない場合には事前打ち合わせにより、不足のないようにしておく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	下校表を貰ったり、行事やトラブルについても連絡報告を受けれるように日ごろから連携を適切におこなっている	送迎時だけでなく、適宜対応できるようにしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	看護師不在で医療行為ができないことの承諾を受け当事業所で出来る必要な支援を行い主治医とのやり取りや文面等の提示をお願いし必要であれば連絡を取れる体制にある	今後保護者と関係機関や他事業所との連携の為会議を予定している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	支援内容の共有と支援方法についても共有しています	必要に応じて情報共有していきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	25%	75%	現在障害福祉サービス事業所等へ移行される方の利用がございません	意向支援がスムーズにいくように今後検討していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	連携は常に行っている	今後も積極的に助言や研修を受けていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%	今後検討していく	地域支援につながるような開かれた事業所を目指します
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%	地域の子ども部会に参加している	今後管理者だけでなく職員も積極的に参加できるように調整していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々の支援内容や利用時の様子を連絡帳に記入するとともに口頭説明が必要と判断した場合送迎時又電話で共通理解を図っている	緊急時の連絡体制を万全に備えておく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	75%	25%	ペアレントトレーニングとしての支援には取り組めていないが困りごとや相談事には迅速丁寧に対応している	定期的にペアレントトレーニングプログラムを取り組めるように検討中
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に必ず説明を行い必要に応じて都度丁寧に説明を行っている	不明点がある場合等 電話や口頭でわかりやすく説明しています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	管理者が必要な助言を行い職員間で周知し支援につなげています	今後も適切な助言と支援を行って行けるように心がけます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%	保護者様の意向を尊重し開催できるような模索中	地域支援につながるような開かれた事業所を目指します
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	管理者を通じて迅速適切に対応できるように要望に沿った形で対応していきます	迅速に会議を招集できるようにここがけています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月事業所だよりを作成し、児童の活動の様子や次月のプログラムの内容を発信している	緊急連絡やその他情報配信が必要な時はリズム通信以外で情報の提示を行っています
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人ファイルを作成し、施錠できる棚に保管している。社内規約にも取り決めがあり研修もおこなっている	SNS等での情報漏洩についても十分気を配り防止に努めている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚支援(絵カード)手話、声の大きさ、スキンシップで配慮している	適切な対応で出来る事を増やしていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	75%	今後検討する	地域支援につながるような開かれた事業所を目指します

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアルを作成し運用を実施している	研修を行い職員間で情報共有している 保護者へ月の通信で研修を行ったことを伝えていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	安全を確保しながら年2回の訓練を実施する	訓練の様子等を月の通信でお知らせしていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置。 マニュアル及び指針を作成運用している	職員研修と個々の対応指導に取り組み全職員に周知徹底している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	適正化委員会を設置。 マニュアル及び指針を作成運用している	職員研修と個々の対応指導に取り組み全職員に周知徹底している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	見落とし間違いがないようにシク横に情報提示している	おやつや昼食時、職員間で必ずチェックし合い安全に配慮している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	適正化委員会を設置。 マニュアル及び指針を作成運用している	職員研修と個々の対応指導に取り組み全職員に周知徹底している